

Concise Explanation of JP 05-15350U
Waterproof cap for electrical connector

In order to prevent damage of a rubber waterproof plug by a bus bar in a waterproof cap, a projection is provided integrally with a ~~waterproof cap main body~~ portion of rigid resin at a bonded surface to the bus bar, avoiding contact between the bus bar and the rubber waterproof plug.

J1033 U.S. PRO

09/811506



03/20/01

(1)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-15350

(43)公開日 平成5年(1993)2月26日



(51)Int.Cl.⁵

H 0 1 R 13/52

識別記号

3 0 2 E

庁内整理番号

7331-5E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21)出願番号 実願平3-62359

(22)出願日 平成3年(1991)8月7日

(71)出願人 000001476

株式会社カンセイ

埼玉県大宮市日進町2丁目1910番地

(72)考案者 阿部和彦

埼玉県大宮市日進町2丁目1910番地 関東

精器株式会社内

(74)代理人 弁理士 本多 小平 (外4名)

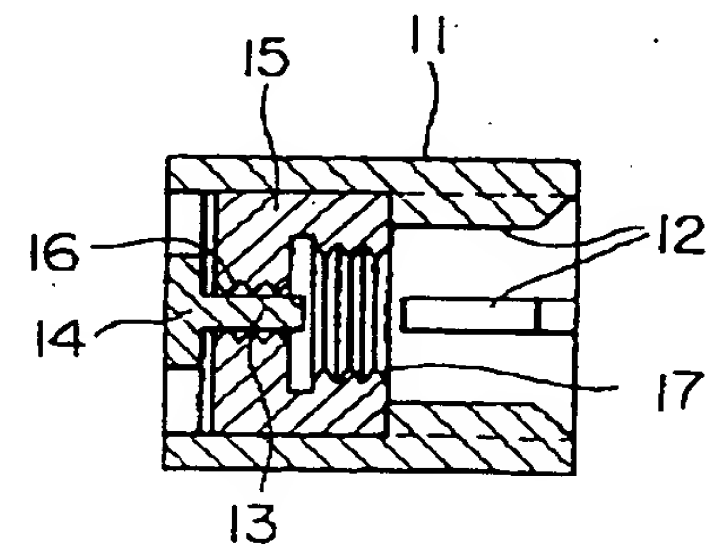
99P01315

(54)【考案の名称】 電気コネクタの防水キャップ

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 ゴム製防水栓の耐久性と防水効果の維持を高めることができる電気コネクタの防水キャップを提供する。

【構成】 防水キャップにおいてバスバーによる防水栓15の損傷を防止するために、バスバーとの接合面を硬質樹脂製防水キャップ本体11と一体に形成される突起13となして、バスバーとゴム製防水栓との接触を避ける。



(2)

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 バスバーを挿着するコネクタハウジングの外側に被着される防水キャップであって、該防水キャップは、両端が開口する筒状の防水キャップ本体（11）の一端開口部を、コネクタの嵌入部となし、その他側開口部を防水栓（15）の嵌入保持部となし、さらにその他側開口部に、上記防水栓（15）を貫通してキャップ本体（11）の内部中央部へ突出されて、コネクタハウジングに組付けたバスバー（3）に当接される突起（13）を突設したことを特徴とする電気コネクタの防水キャップ。

【図面の簡単な説明】

【図1】 バスバー接続装置。

【図2】 バスバー接続装置に防水キャップを嵌合した状態の説明図。

【図3】 従来の防水キャップ構造説明図。

【図4】 本考案よりなる防水キャップの構造断面図。

【符号の説明】

11…防水キャップ本体

12…リブ

13…突起

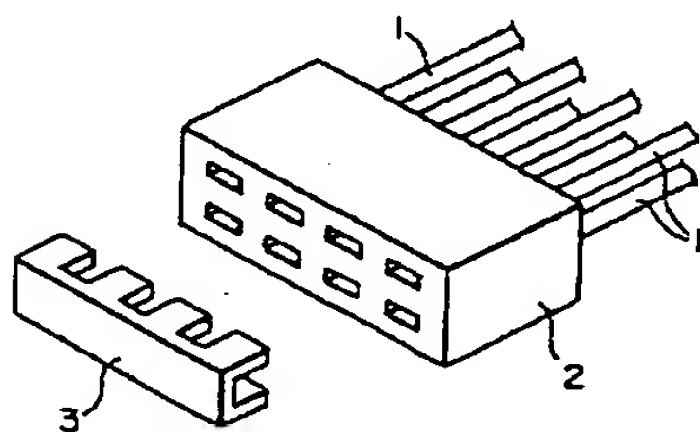
14…支持部

15…防水栓

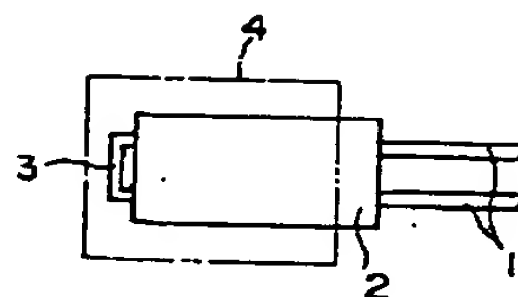
16…圧接面

17…圧接面

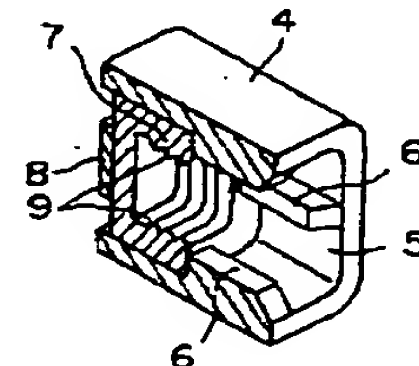
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

